

町家を耐震診断

福井県小浜市
重要伝統的建造物群保存地区で
築80年の古民家調査

文／古民家鑑定士・伝統再築士 上中 雄一郎さん



古民家鑑定を行う上中さん。



測定機器を設置。

しかし、問題となるのは改修です。まずは古民家鑑定を行いました。やはり耐震性能が気になります。すると、私の所属する全国古民家再生協会福井第一支部で、『早稲田式動的耐震性能診断』を知り、支部長から「上中さんの所で診断をやってみないか？」とのお話がありました。

で、私も受講することになりました。前日の福井市での座学講習を終えて小浜へ……マスコミや県、市、建築士会の方など見学者への説明を終えて、いよいよ実際の診断が始まりました。

一階と二階に測定器をセットしパソコンへ入力すると測定値が現れました。想像していたよりも、すぐに測定出来るんだというのが素直な感想です。間口が狭く奥行の長い町家ですから、短編方向が弱いことは漠然と分かっていましたが、今回の診断で数値として表すことが出来ました。また、滋賀県立大学の高田教授に限

界耐力計算もおこなって頂けることとなり、動的耐震性能診断と併せて、この建物の耐震性能を把握することが出来ました。今後の改修、耐震補強に役立てることが出来るそうです。

今回の実地講習を終えて、壁量で判断する通常の耐震診断と違い、微細な地盤の振動と建物の振動を同時に計測しデータを解析する早稲田式動的耐震性能診断は、壁の少ない古民家には最適の方法ですし、太い柱で、梁がしっかりと組まれた古民家であれば、地震に対しても十分な強さがあることが証明出来ると感じました。



改修完成までの流れを
誌面で順次ご紹介します！

NHK連続テレビ小説の「ちりとてちん」の舞台になった町、福井県小浜市の西組地区には、町家、土蔵、寺社、西洋建築等、様々な建物があります。町家は京都と同じく「ウナギの寝床」のように間口が狭く、奥行きが長くなっています。小浜市伝統の若狭瓦、防火壁となる袖壁（袖うだつ）、ベンガラ格子等が特徴で、平成二十一年に国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されました。

私の仕事柄や、古民家や町家に興味を持っていたことや、イベント会場として使用したことなどの理由により、この地で「町並み案内所」として使われていた築八十年程度の町家を私が所有することとなりました。重伝建地区内の建物を修理する場合は小浜市から補助金が出る制度があり、補助金を活用し修理して住まいにしようと思っています。こういった古民家に住みたいと思っていたので、今から楽しみです。



西組地区の町並み

小浜市西組地区



(c) 663highland

小浜西組は、京極高次によって築かれた小浜城の城下町が元となっている。城下町は次第に拡大し、東組、中組、西組の三地区に分かれた。西組の東側は商家町、西側は茶屋町、西端と南の山麓は寺町として整備された。建物は一八八八年（明治二十一年）の大火以後のものが多いが伝統的建造物が多く残っている。
(Wikipedia)

福井の古民家の相談はこちら



Introducer

一般社団法人全国古民家再生協会福井第一支部
支部長
古民家鑑定士・伝統再築士 松田 沢弘さん
〒916-0133 福井県丹生郡越前町気比庄3-1
TEL 0778-34-0705 FAX 0778-34-2027
HP <http://www.kominka-fukui.org>

福井 古民家再生協会



Introduced person

古民家鑑定士・伝統再築士
かみなか ゆういちろう
上中 雄一郎さん
上中住建
〒917-0382
福井県大飯郡おおい町名田庄久坂1-11
TEL 0770-67-2180 FAX 0770-67-2135
HP <http://kaminaka-juken.com>

古民家鑑定士とは→ <http://www.kominkapro.org>